



牧之原台地とばらの丘公園ウォーク

2018.05.20 13km ゆったり8km

コースの概要

金谷坂石畳入口で下車し、坂の手前で体操をしてウォーク開始です。全長430mの石畳の上り坂は足元に注意しながらゆっくり歩きましょう。途中**すべらず地蔵**があります。合格祈願に多くの人が訪れるそうです。石畳から10分ほど歩いたところにある**諏訪原城跡**は武田流築城技術を駆使した壮大な山城です。城内の諏訪原神社、空堀などを散策後、城跡を後にして**ふじのくに茶の都ミュージアム**でトイレ休憩、その後は山を下ります。下りきって**大井川鉄道**の踏切近くにある樹齢1200年の**二軒屋の大力ヤの木**を見て**新金谷駅**に向かいます。駅には寄りませんが、駅構内にあるSLを左手にみて県道に出、全長1026mの**大井川橋**を渡り、左折して住宅街を少し歩いたら、昼食場所の**朝顔の松公園**に到着です。**隣接する島田市博物館**の入館料は240円ですが、ご希望の方は個人負担100円で入館していただきます(140円は会の負担)。博物館には旧東海道島田宿の川越制度を伝える展示があります。午後は**川越(かわごし)遺跡**を散策しながら**大井神社**経由で**ばらの丘公園**に向かいます。入場料は会費に含まれています。温室内外に咲き乱れるばらの花をお楽しみください。ゆったりは、**川越遺跡**周辺で十分に時間を取った後にバスで**ばらの丘公園**に向かい、一足早くばらの庭園をお楽しみいただきます。帰路ではみなさん大好きな**焼津さかなセンター**に寄ります。

島田宿大井川川越(かわごし)遺跡

江戸時代、旅人が大井川を渡るためには、人足に肩車をしてもらうか、輦台(れんだい)というみこしのような乗り物に乗り、担いでもらっていた。その「川越し」の料金所(川会所)や、人足の待合所(番宿)などの風景を再現したのが、この遺跡である。昭和41年8月1日に国指定史跡に指定された。

次回申込(昼食場所で) 遠州森町花めぐりウォーク

☆期 日 6月10日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 7:00
☆参加費 4,500円
☆切 6月5日(火)

島田市ばらの丘公園

島田市ばらの丘公園は、切りバラ栽培が盛んな島田市に平成4年に開園した。1.9haの敷地に、約360種、8700株の世界各地のバラが植栽されており、「ミスシマダ」など、ここで命名された島田生まれのバラも見ることができる。園内には、趣向を凝らしたバラ庭園や、大温室、トンネル温室がある。

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

博物館入館方法

受付でリボンを見せ100円(個人負担)お支払いして入館して下さい。(歩こう会負担金140円の清算は役員が行います)

1階常設展示:「旅と旅人」をメインテーマに江戸時代後期の大井川、島田宿、川越しの様子や川留め文化と島田帯の展示

2階展示:「滝沢清 水彩画の世界」

分館展示:博物館から300m先にあります(同一入場券観覧できます) 126年前の日本家屋と日本庭園、海野光弘版画記念館、民族資料室が観覧できます。

バラの丘公園
ゴール・WC
15:00~40

旧東海道金谷坂石畳

江戸時代、金谷坂は急坂なうえに「あおねば」と呼ばれる粘土層が露出しており、雨が降るとぬかるみ、大名行列や旅人は大変苦勞した。そこで江戸時代末期、約400間(約720m)の石畳が「山石」を敷き詰めて造成された。この時使われた山石は、牧之原台地の耕作土の下に厚く堆積している「牧之原礫層」に含まれている大井川の河原石と同じ丸石で、現在の大井川の河原石よりもザラついて滑りにくいものである。明治以降、電話線や電線等の敷設により掘り起こされ、その後舗装されたため、もとの面影は失われていた。平成3年(1991年)、町おこし事業として「平成の道普請・町民一人一石運動」により、約7万1000個の「山石」を敷いた、430mの石畳が復元された。石畳の中腹の六角堂には「すべらず地蔵尊」が祀られており、石畳が「すべらない山石」を用いていることにちなんで、合格祈願の名所となっている。

諏訪原城跡

諏訪原城跡は、戦国時代の東海道における戦略上の要地に位置し、はじめ武田信玄が砦を築き、その後天正元(1573)年、遠江侵攻の拠点・徳川氏に対する備えとして、信玄の子 武田勝頼が家臣 馬場美濃守信房に命じて、牧之原台地に築いた山城である。武田家の守護神諏訪大明神を祀ったことからこの名が付いたと言われている。天正3(1575)年に徳川家康によって攻め落とされた後、牧野城と改名され、今川氏真や松平家忠らが城主となった。やがて武田氏が滅亡すると、この城の必要性はなくなり、天正18(1590)年頃廃城となったと言われている。自然を巧みに利用した三日月堀や丸馬出しなど「甲州流築城法の典型」といわれる遺構が九分通り現存する。昭和50(1975)年 国指定の文化財(史跡)に指定。平成29(2017)年4月6日公益財団法人日本城郭協会により「続 日本100名城」に選定された。

コース

往路(バス)	富士宮駅==富士IC==牧之原SA(WC)==相良牧之原IC==金谷坂石畳入口
	7:30 8:40~55 9:10
ウォーク	石畳入り口...石畳前(体操)...金谷坂石畳...諏訪原城跡(WC)...ふじのくに茶の都ミュージアム(WC)
	9:10 9:15~25 9:40~50 10:20~30
	新金谷駅...島田市博物館・朝顔の松公園(昼食・WC)...川越遺跡...大井神社...ばらの丘公園(ゴール・WC)
	11:30 12:20~13:10 14:10 15:00~40
復路(バス)	ばらの丘公園==焼津さかなセンター==東名焼津IC==富士IC==富士宮駅
	15:40 16:10~16:40 17:40
	*ゆったりは昼食場所からばらの丘公園までバス移動